

放射線相談員の活動

内閣府原子力被災者生活支援チーム

「放射線相談員」の役割

被災住民の方々が放射線に向き合いながら生活していくために、住民の身近で様々な相談に応じ、その自発的な活動を支援する。

○ 相談員の具体的な役割の例

- 放射線量測定、測定結果の説明
個人線量計等の各種機器の貸し出し、使用方法の解説や測定補助戸別訪問等
- 住民の関心・要望等の聞き取りや対応
住民の様々な関心・要望等に対しアドバイスの実施や、行政や専門家などにつなぎ、解決につなげる

12市町村における住民への放射線相談対応体制

○ 12市町村における、住民の放射線不安への相談対応の体制（H28年度）。

※市町村によっては、役場職員が直接住民への相談対応を実施している場合もあるなど、活動は自治体の実情に応じ様々となっている。

①放射線相談員（加速化交付金等で市町村にて配置）【18名】

…南相馬（9名）、広野町（2名）、川内村（2名）、浪江町（1名）、飯舘村（3名）、川俣町（1名）

②生活支援相談員（市町村社協にて配置）【約200名】

…主に見守り、生活全般の相談対応を実施（放射線不安の相談は全体の0.5%程度）。

③大学等の研究者等有識者

相談員間の連携が課題とする現場の意見から、放射線相談員、生活支援相談員の連携をめざし、「合同ワークショップ」を昨年12月に開催。

